



# 図工室から

VOL1 4

令和5年2月16日  
馬橋小学校

第十四回の「図工室から」は、『展覧会を振り返って～③4～6年生の展示』です。  
写真で作品を紹介していきます。

○4年

「不思議カラフル動物園」



見たこともない不思議な生き物たちが勢ぞろい！スパッタリングやデカルコマニーなどのモダンテクニックを学んで、どのように活用するかを試行錯誤して取り組みました。作品に耳を澄ますと鳴き声が聞こえてくるかも。

「わくわく布アート」



布の色や柄、質感を生かして活気あふれる絵を制作しました。布をコラージュするだけではなく、上から絵具で描いたり、紙で額縁を付けたりと子どもたちの楽しい工夫が作品にあふれています。

## 「冒険の島」



「冒険の島」のストーリーをイメージしてリアルな島を立体的に作りました。島の地形は、液体粘土でタオルを固めて立体的に作りました。個性豊かな島々を巡る旅へいざ出発！

## ○5年 「馬橋小の木を描く」



馬橋小の校庭にある木々を観察して思いのままにたくさん描きました。木の形や質感、木が放つオーラなど、子どもたちの感性でどうえたものが生き生きと表されています。子どもたちが考えた画面構成にも注目してください。

## 「オリジナル家紋」



1/4の图形を四回転させて形を作るという版画手法を使って家紋をデザインしました。形や色のつながり、技法上の制約など、様々なことを考えながら生み出した努力の結晶をご覧ください

## 「森のテーマパーク」



### 「森のテーマパーク」

電動糸のこぎりで木材を加工し、立体的な構造を上手に作りました。イメージを細部にまで広げて丁寧に表しています。  
子どもたちが設計した森のテーマパーク、  
いよいよグランドオープン！

## 家庭科「ウォールポケット」



### 「ウォールポケット」

環境にやさしいジュート生地を使いました。ミシンでは、直線縫いをがんばりました。毛糸で刺しゅうをしているうちに手縫いも上手になりました。  
「部屋のどこにかけようかな。」「ポケットの大きさはどうしようかな。」と、様々な考え方やアイディアが詰まった作品です。

## ○6年 「ココロの自画像」



初めての抽象画に挑戦！モチーフは**自分の心**です。感情の変化や対立する気持ちなど、目に見ることのできない**心の様子**を形と色に置き換えて表しました。

## 「描こう墨ワールド～NEW JAPAN～」



日本の伝統的な絵画表現である水墨画にこれから日本の日本をつくる子どもたちが挑戦しました。色の濃淡や線の表情など、墨表現の魅力を生かして描きました。モノクロの作品の向こうに明るい未来が見えてきます。

## 「私のお気に入りボックス」



使いやすく見て楽しい、自分の部屋に置いておきてくれるアイテムを木材で作りました。強度のもたせ方や可動する仕掛けなど今まで勉強してきた木工作の経験を生かして表しました。

## 家庭科「ランチバッグ」



お弁当や水筒、好きなものを入れられるマチがあるランチバッグを作りました。部分によっていろいろなミシンのかけ方をしました。刺繡やポケットなど、学んだことを生かしてオリジナルのバッグを作りました。



馬橋小学校 図工専科 直本 鉄平